# 下関管内から地域の期待を担って、種雄牛候補牛が選抜される

下関農林事務所畜産部
平成22年5月27日

山口県には、黒毛和種の母牛が約5,000頭飼養されております。その中でも能力の高い上位の雌牛に優秀な種雄牛を人工授精し、産まれた雄子牛を選定して、山口県を代表する黒毛和種の種雄牛を造成する取り組みが行われております。

平成22年５月25日、下関市豊北町の繁殖農家で生産された雄子牛が種雄牛候補の１頭として選抜され、産肉能力を検定するため農林総合技術センター畜産技術部に搬出されました。

この子牛の母牛は育種価（遺伝的能力を数値化したもの）が高く、特に脂肪交雑（ロースにサシが入ること）の数値は県内TOP３であり、その母牛から産まれた雄子牛も能力が高いと期待されます。

これから種々の調査・選抜・検定等をクリアできれば、山口県を代表する種雄牛になれることから、農家や地域の期待も高まっています

選抜牛と飼養者